

「広津よ永遠に」シリーズ その8

6月の広津

2011.6.27

新緑の季節です。外国人は日本の良さは四季がハッキリしている事だと言うそうです。日一日と緑が増し、ほうの木が大きな見栄えのする花を咲かせ、ヤマボウシの花がひととき目立ちました。大カエデも葉が茂りました。



大カエデ



観光案内版



カミツレ畑



綺麗な鉄扇の花



雑沢さん宅の鮮やかな色のニッコウキスゲ

道端には沢山の蕨が食べごろとなり（上旬）、沢山ある竹林の筍も食べごろです。

（中旬以降）町では木製の立派な観光案内版を幾つか設置しました。カミツレ祭りも終わり、収穫期です。林道では猿、キツネ、ヤマドリ、キジ、リス、蛇など

が顔を出し、驚かされました。5月中旬に終わった田植えの稲も20～30CM位に成長しました。庭先には花々（クリンソウ、ルピナスなどは中旬まで）が咲き競っています。一時期農家が現金収入のために植えた沢山の梅の木が収穫期を迎えています。（高齢化や転居などでまったく収穫されない梅も去年は見られました。もったいない！）梅雨の雨で林道も何箇所かで崩落しました。標高が高い、木が多いせいか蒸し暑さはあまり感じません。

平出地区にユニークな木上の家？が出現しました。Hさんの孫が「秘密の基地」が欲しいと言い、作ったとの事です。発想の面白さ、上手な建て方に感激しました。こんな遊び心が達成できるのも田舎の良さではないでしょうか？



お爺ちゃんの力作の家



その全景（右奥が自宅です）です。

原発事故の福島などでは校庭が仮設住宅地になり、それでなくても放射能で外では遊べず、プールも室内プールへ出かけるとか。暑くても長袖。信州は申し訳ないほど恵まれています。（夏休みに被災地の子供たちを信州でのびのび遊んでもらう企画が沢山予定されているようです）